

市民がつくる  
市民が学ぶ  
市民が拓く  
生涯学習情報誌

# Stage

月刊ステージ・アップ

# up

'93

3

月号【1日発行】

無料

ベルリン・フィル & ハープの  
弦楽アンサンブル 吉野直子  
6月公演の前売り迫る



早春の王禅寺



いまを話す

「中高年の離婚」を本にした志村章子さん  
新しい価値観の女に追いつけ男

■随想 ■思いつくまま 高橋清・川崎市長  
相反する力を束ねてこそ 3

◆はりきってます ◆グループ紹介  
モーツァルティアーデ 8

□学習・文化情報 / 会員募集 10

中標津の中学生が交流訪問 9

いまを話す 「あなたが離婚を考へるとき」の著者、志村章子さん  
新しい価値観に追いつけぬ男 4

「いまを話す」のゲスト、インタビューを推薦して 17

〔市民企画講座〕

「影向寺」と川崎〜川崎史の原点 三輪修三さん 14

「官立寺院より半世紀早い建立のナゾ」

水エコロジー〜川崎の「水」は今 小林勇さん

水源沿いに産廃処理場計画 飲料水に直撃?

「中高年の学習に」かわさき市民アカデミー」創設へ 18

「ベルリン・フィル弦楽アンサンブル & 吉野直子」公演決まる 22

◇くらしの音 / 小説鑑賞場所 20

●表紙絵 清水幹子…早春の王禅寺

●随想絵 田村あや…雪割草



〈クイズです：○数字の中にカタカナか漢字を入れてください〉

「Stage Line かわさき」は生涯学習情報①テ②です。講座・催し・文化・スポーツ・資格取得・学習プログラム・指導者人材・教材・教材機器・施設・見学などの情報が、市内の公共施設や当事業団など27カ所の端末機の画面で得られます。また、お電話での情報の入手もできますのでお気軽にどうぞ。

生③学④情報⑤ 月刊「Stage Up」のご愛読とともに、「Stage Lineかわさき」のご利用をお待ちしています。

お問い合わせは☎044-233-6250の(財)川崎市生涯学習振興事業団情報センターへ。

随想 ● 高橋清 — 川崎市長

# 思いつくまま ⑩



前号で私は川崎が古来より「地の利」に恵まれた土地だと述べました。

川崎大師をはじめ、いくつかの名刹とそれをつなぐ幾筋かの往還道、さらには明治末期から臨海部に立地してきた近代工場群など、「川崎らしさ」を形成してきました。

これらの事蹟の数々は多摩丘陵と多摩川に沿って、陸地と海に大きく翼を広げた豊かな地勢によって育まれてきたといつてよいでしょう。

いま、私の手元に、日本の代表的な大都市（政令指定都市・全国で十二都市）の施策を比較した資料集（92年度版）があります。

各都市の人口、面積などの基本的な市勢データを見比べてみますと、この恵まれた地の利によって、いまなお私たちが実り豊かな果実を享受している姿をはっきりと読みとることが出来ます。

ご存じのように、東京と横浜の間にあって、南北に細長くのびた川崎の面積は一四七平方キロと政令市のなかで、もつとも狭いものの、人口は百二十万人で八番目に位置し、一平方キロに占める人口密度は二位です。

このことは、小さい面積の中にいかに多くの人びとが暮らしてお

## 相反する力を束ねてこそ

り、新しく開発できる余地の少ないことを示しています。

またデータは、市民一人あたりの所得が三百六十九万円で、大阪に次いで二位を占め、一世帯当たりの消費支出が一月三十八万円でトップになっています。このデータを重ね合わせれば、その地理

的有利さが、どれほど私たちに豊かな富をもたらしているかを改めて教えてくれます。

もちろん、数字はあくまでも平

均にすぎませんから、市民一人ひとりの生活実感と必ずしも一致しないでしょう。数字を並べて経済的豊かさだけがすべてだ、と言いたいのもありません。

むしろ、日頃「あたりまえ」と、見過ごしている事象の背後に、そこに住む私たち自身が見い出していない「豊かな可能性」が隠されているとすれば、こうした数字は、それを解くヒントになるのではないかと思うのです。

昨今の大きな時代の流れに目を向けてみますと、高齢化や情報化、そして冷戦時代の終結による国際社会の枠組みの転換、さらには地球規模での環境危機など、政治、経済、文化のあらゆる領域で、これまで人々が共有しあっていた認識が崩れはじめ、新しいよりどころの模索がおこなわれています。

川崎でも、急速な時代の変化のなかにあつて、二一世紀に向けた新しい「ふるさとかわさき」づくりをめざした基本構想を昨年末に策定しました。その基本方向は、

これまで「川崎らしさ」をつくってきた基本軸——海からの生産文化と陸からの生活文化が合流し溶けあう中から生みだされる川崎の

多様な資源を、時代の大きな変動のなかにしっかりと見極め、方向を誤らないようにすることにあります。

多摩川の悠久の流れが育んできたものへの慈しみと、未来への変化に臆することなく挑戦していく進取の気風。この一見、相反する力をしっかりと束ねようとする意



思にこそが時代をこえて、内部から川崎らしさを照らしたす光の源があるものと確信しています。

大堰や ひろく、落つる

春の水 泊水

（一月二十九日記す）

お断り 「思いつくまま」は都合により来月号より休載します。



志村章子さん

「あなたが『離婚』を考えるととき」を書いた

志村 章子 さん

## いまを話す

インタビューー 家村かをるさん (フリーライター)

Vol. 12



家村かをるさん

〈離婚して半年たった。夫婦関係の破綻から離婚に至る三年を越す年月。まったくドロ沼にはまりこんだ日々であった。精神的な動揺、不眠、体も心もスタスタになつた。二十年近い年月を共に暮らした男女の別れは、簡単なものではない。娘もひとりいる。自分で選んだ道なのだから、自分で締めくくるのは当然と頭では考えられるのだが、体や感情が反逆する〉昨年暮れに出版された「あなたが『離婚』を考えるととき」の一節だ。タイトル自体、刺激的である。その著者が志村章子さん。「ドロ沼」の自らの体験を語り、そこから八年を経て、彼女の関心は「いま、ドロ沼の真つただ中にいる女性たち」へと向けられている。

## 中高年離婚の背景 開く夫婦の価値観

## “枠”超える女 企業戦士から脱皮できぬ夫

——いま、離婚に関する芸能ニュースはあふれていますが、離婚を真つ正面から取り上げた情報や本は意外に少ないようです。

志村さん (うなずく)。

——昨年、志村さんは「中高年の離婚」にスポットを当てた本を出されました。本を書かれた意図、思いなどを、お聞かせください。

志村さん だれもが「離婚なんてするものではない」と思っている現実がありますね。私も恋愛結婚だったし、まあ成功したと思っていたのね(苦笑い)。

——はい……。

志村さん それが、八年前に離婚した。その年は、中高年の離婚が一番多かった年だったので。

——それまでは結婚数年後の二十代の人たちの離婚が多かった。ところが結婚して十年、二十年経つた中年の離婚が増えていた。「どうしてなのかな」って。それは私自身が乗り越えなければならぬ問題でもあったわけですね。

——ご自身の離婚と社会現象、はからずも一致していたと。

志村さん ええ、それ以来ずつ

と気になっていました。中高年の離婚件数はその後「高原状態」が続いて、去年また増加しました。「十年間で二倍以上になっている。これはなんなのだろう」「いま、中高年の男女に何が起きているのか」を追いかけてみようと思つたのです(真剣な表情で)。

——それで離婚した人、離婚しないまでも揺れている人たちに取材なさつたのですね。

志村さん 取材に女性は結構、応じてくれましたが、男性は語ってくれないのです。男女両方から聞かないと本当のことが見えてきませんね。ところが「お墓に持つていけばいいことだ」とか「性格の不一致でしょう」と言つて、男性は逃げるのです。

——ごたごた言うのはみつともない、沽券(かたがね)にかかると。

## デメリツトある

## 現実を直視する

志村さん そうなんです。中高年の離婚は、まだまだデメリツトであり、太陽の下で語るべきものではない、という現実が見えてきましたね。

——取材で困難に直面して、本

## 再出発後の支えは仕事・友人 生きる厳しき、充実感

をつくる意義が、より明確になったのでは。

志村さん 女性はいままで「夫のため、子どものために生きてきた」との「枠」があるのです。そろそろ、その枠を超えて柔軟に考えてもいい時期と思います。

—— 専業主婦だけが、女の生きがいではないはずですね。

志村さん 人生八十年時代、ひよっとすれば九十年の時に、人生

を我慢だけで生きるのは、あまりに寂しい。この本を自分自身の道を考えて生きる人たちへの「応援歌」にもしたかった。

—— 志村さんが離婚されたのは四十五歳の時。その年代からの再出発は、かなり厳しいものだったと思います。

志村さん 私は仕事をずっと続けてきましたし、友人、知人の存在が大きな支えになりました。ウ

サギ小屋ながら住む家もあった。仕事と住む場所があれば、生きていけるのです。離婚して八年経つたいまは「自由なんだ」という思いが強いのです。

—— 後悔はしてないと……。

志村さん 私は野鳥観察が好きですが、空を自在に飛んでいる鳥たちは、かごの中の鳥より生きる条件は厳しいけれど美しい。大変だからこそ光って見えます。自由に、自分の意志で生きることの厳しき、楽しき、充実感がありますね。とはいえ、中高年の再スタートは「清水の舞台から」という以上の大変な決断でした。

—— 読者からの反響はいかがでしたか。

**ドロ沼で苦しんでいても  
家族にもないしよの孤独**

志村さん 四国や東北からも出版社に電話があり「背表紙を見せないで送ってほしい」「本が着く日は、留守をしないで朝から待っています」と。切羽詰まった人たちが読者ですが、家族や他人に知られたくないのですね（しみじみと）。

—— もう少し抵抗感のないタイ

### 志村 章子さん

しむら・しょうこ=東京生まれ。雑誌編集者を経て、フリージャーナリストに。女性、老人、自然環境、野鳥をテーマに執筆活動。田中正造・足尾鉾毒問題にも取り組む。「あなたが『離婚』を考えるとき」（同時代社刊）は、田上正子さんとの共著。ほかに共著『49歳もう一度自分さがし』も。長女は独立。川崎に住んで13年。自宅は多摩区三田。

トルのほうがよかった（笑い）。最近離婚を「バツイチ」と言っているのですが。

志村さん でもね、やはりマイナスイメージなのだと、再確認させられた思いでした。

—— 一方で、いわゆる家庭内離婚も増えていると聞きますが。

志村さん お互いの関係がスムーズにいかなくなった理由が一般化していくのです。トルストイの小説に「不幸の型はいろいろあるけれど、幸せの型はどれも似てい



## あなたが 離婚を 考えるとき

もう一つの  
人生に向けて

志村章子

田上正子

Shizuka Shimura  
Masako Tanoue

同時代社



ほんねインタビュー

# 離婚に甘い幻想は禁物

す。ところで、離婚となれば経済的な問題が大きい。きちんと、考えて別れるのでしょうか。  
 志村さん それが非常に甘い。離婚すると慰謝料をたくさんもらえるような幻想を持っている。  
 何千万円とか……。



間関係も豊かになっています。  
 夫は依然、企業戦士……。  
 志村さん そう。夫の価値観がかわらない。妻が家に居れば安心している。外で少し活躍するのはいいが、大活躍は駄目だとストンプになるんです。これに女性が不満を持っていますね。  
 男性からは「疲れて帰ってきて、不機嫌な顔をされてはたまらない」という声が聞こえそうで

志村さん いえいえ、億単位。だれが出すのか知りたいほど。ですから実際にはあきらめて、友達にグチをこぼして発散する。そんなケースが多いですね。  
 一人ひとりが孤独で、寂しい社会をかいま見るようです。  
 一人でいる孤独より  
 二人の孤独がづらい  
 志村さん 私も実感したので、離婚前も十分に孤独だったの。一人でいる孤独より「二人で居て孤独」というのは、やり切れないものですね。いま、一人で生活していると、それほど寂しくない。仕事があり、友達がいる。ボーイフレンドもいるし。  
 高齢社会がすすみ、ライフサイクルが変化して、これから高齢の単身者も増えてくる。マスコミの役割も大きいと思います。  
 志村さん やはり、応援歌を送ってほしい。わたしが「シングルで暮らす中高年」について記事を書いた時、いかにも悲しそうなイ

ラストが添えられていました。記者が無意識のうちに考えていることが出てしまう。悪気はないんでしょうけれど、それが社会的な批判に結びつく。  
 浅い認識の報道がされた場合は泣き寝入りですか。  
 無理解な報道には発言を  
 志村さん これからは、読者がマスコミに積極的に発言していくことが大切です。マスコミが時代の変化に気付かないこともありま

から。  
 きょうは離婚を切り口に、人生とは、幸福とはなにかについて、改めて考えさせられました。この本を、男性や若い世代にも読んでほしいと思います。ありがとうございました。  
 (題字は高橋清・川崎市長。文責 田中園)



から。  
 きょうは離婚を切り口に、人生とは、幸福とはなにかについて、改めて考えさせられました。この本を、男性や若い世代にも読んでほしいと思います。ありがとうございました。  
 (題字は高橋清・川崎市長。文責 田中園)

から。  
 きょうは離婚を切り口に、人生とは、幸福とはなにかについて、改めて考えさせられました。この本を、男性や若い世代にも読んでほしいと思います。ありがとうございました。  
 (題字は高橋清・川崎市長。文責 田中園)

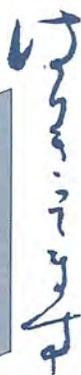
から。  
 きょうは離婚を切り口に、人生とは、幸福とはなにかについて、改めて考えさせられました。この本を、男性や若い世代にも読んでほしいと思います。ありがとうございました。  
 (題字は高橋清・川崎市長。文責 田中園)

当事業団は小田急線新百合ヶ丘駅下車、徒歩1分です。  
 多目的ホール、研修室、会議室のご利用は  
**☎044-952-5000へお願いします。**

当事業団は、12月29日～翌年1月3日を除き無休で開館しています。  
 多目的ホール(504席) 研修室(24～30席) 会議室(20席)のご予約・お申し込みは、午前9時から午後5時まで(土曜日の午後と日曜日を除く)です。

# 古典音楽を研究する

## モーツァルティアーデ



### グループ紹介

「モーツァルティアーデ」は、本梯次郎代表（63）、会員三十六人。は、改めてクラシック音楽を聴くというよりも、自然に体に吸



# 「聴く」から「体で吸収」 演奏会開き地域交流

収めるような感じで、音楽を楽しんでいる。

この日は、多摩市民館音楽室での最後の例会だった。多摩区庁舎建替えのため、愛着のある学び舎に足を運んで四年目になる。

毎月一回の例会は毎回、明治学院大の高橋英朗教授（61）が、モーツァルトの講義をし、同教授の妻でオペラ歌手の高橋照美さんが、すばらしい歌声を披露することもある。

同会の第四回定期演奏会は今年一月末、多摩区のイノウエホールであり、多くの区民が鑑賞しての盛況ぶりだった。写真は、川崎市教育文化会館の成人学校の卒業生が中心となって、平成元年に発足した。

会員は、モーツァルトの曲を聴くだけでなく、他の作曲家の作品を多く聴くようにしているという。それは、モーツァルトの良さを深めるためには、クラシック音楽全般を学び、「音楽を通じて地域社会の向上を図る」ことが目的だからだ。

会員の田中善作さん（63）は、会発足のきっかけとなった成人学校は、なかなか粋な企画だった。私

はもともとオペラ好きでウィーンにも旅行し、そこで感じたことは、もつと川崎に文化施設があつていいと思つた」と話す。

最年少会員の西原遊くん（16）は、母親に誘われ参加したが「モーツァルトよりもマラーやシベリウスの方が好き」と今では音楽家のような口調。

藤原勇二さん（45）は、もともとクラシックを聴いていたが「専門的な知識を得れば、もつと楽しく音楽が聴けると思い、会に参加した」と笑顔。

小野毅さん（63）は以前、高橋教授の著書を読み、教授が講師を務める成人学校に参加した。その頃は今より知識ばかりが多かつた会に入りオペラにも触れ、モーツァルト以外の曲も聴いて、頭でつかちを解消した」と謙虚に話す。

榎本代表は、「会員は、とにかくクラシック好きで、多摩区在住の人が多いことが長続きの秘訣でしょう」と語る。

同代表宅は幸区鹿島田一〇七八、  
☎5331-2390。

（取材・カメラ 田島志織）

も標に  
2倍の  
の間に  
の間に  
間が  
津が

## 国内友好都市交流で中学生

「密集地には住みたくない」

宮内中、宮崎中の生徒と意見交換

国内友好都市のひとつ、北海道中標津町の中学生十七人が冬休みの五日間を川崎で過ごし、川崎の中学校の教室の多さに驚き、生徒会運営の苦労を気遣った。また、環境については人工的美しさに魅せられたが、「こんな密集地に住

む気がしない」と厳しい意見もあった。

四年前、中標津町の酪農後継者と川崎の女性たちとの交流から始まった両市町の関係は昨年、友好都市協定の調印を行い、夏休みには川崎の小中学生四十人が「ふれ



目を輝やかせて宮内中の授業を参観する中標津の中学生たち(上)  
川崎市民ミュージアムを見学しさまざまな造形物を鑑賞する(下)

お互いの作品を贈りあい友情を深める



あいキャンプ”で中標津の酪農家に宿泊して自然体験をした。

今回の中標津の中学生の訪問は、逆に川崎の中学生との交流活動を中心に、大都市部の文化や産業を学ぶために実施され、次のような活動と視察見学が行われた。

中原区宮内中、宮前区宮崎中の訪問と交流、東芝科学館、東電火力発電所、横浜・中華街、日本民家園、市民ミュージアム、国会議事堂、東京デイズニールランド、川崎大師の見学。

宮内中・宮崎中生徒との交流会のなかで中標津の中学生は活発に発言したが、そのいくつかを紹介しよう。

中標津中二年 佐藤明君、「人間の二倍くらい牛がいる町からやってきました。中標津はとても広くて

自然がいっぱいです。川崎のいいところを学んで帰りたい」。

武佐中二年 坂口直美さん「私の中学校は生徒が十八人しかいません。宮内中の教室の多さにビックリしました。こんなに大勢いると生徒会の運営はどうやっているのでしょうか」。

中標津中二年 柴野征子さん「都会の中学生は勉強ばかりやっているのかと想像してきましたが、運動部も活発なので親しみを感じました。できたら卓球の試合をやってみたい」。

また、川崎・横浜の印象について中標津中二年 佐藤友香さんは「工場やベイブリッジの人工的な美しさに感動しました。だけど、どうしてこんなに密集して住むことになったのだろうか？ 私は広々とした環境でないと住めない気がします」と話していた。

中標津と川崎の中学生たちの今回の交流は短時間だったが、お互いに生まれ育った地域を見つめ直すいい機会になっただろう。交流の積み重ねのなかで響き合う友好関係が強まっていくことが期待される。

学習・文化情報

探していた講座がある

講座・講演



①さわやか体操 A ②社交ダンス ③さわやか体操 B ④健康ヨガ ⑤エアロビクス A ⑥エアロビクス B ⑦エアロビクス C ⑧パッチワーク ⑨水彩から油画迄 ⑩フラワードesign ◆ヨネッテイー王禅寺 ①⑧は4月5〜9月13日の毎週月曜10〜12時 ②⑩は4月6〜9月14日の毎週火曜10〜12時 ③④は4月8〜10月14日の毎週木曜 ⑤⑥⑦⑧⑨は4月9〜9月10日の毎週金曜 ⑤は10〜11時半 ⑥は14〜15時半 ⑦は4月17〜9月18日の毎週土曜10〜11時半。いずれも定員30人。受講料は12000円で2回の分割納入。申込みは④⑥は3月26日(金)10時、①③は14時、②⑦は翌27日(土)10時、⑧⑩は14時までに直接来館。☎951136

「リフォームを楽しむ会」

◆登録ドレズメーカー学院 3月10日(水)13〜16時 古セーター、スカート、着物など何でも蘇らせるリフォームの仕方やサイズ直しを学ぶ。受講料無料。定員先着30人。申込みは月〜金曜9〜12時に☎911122 21の同学院。同学院は小田急線向ヶ丘遊園駅北口徒歩1分。

「植物のふやし方講習会」

◆緑化センター 3月17日(水)13時半から。定員30人。受講料200円。申込みは3月3日までに往復ハガキに講習会名、住所、氏名、電話番号を記し〒214多摩区宿河原6-14-1の同センター。☎91112177。

「区民ふれあいセミナー」

◆新百合トウエンティワンホール 3月15日(月)13時半から。テーマは「音楽裏論〜音楽裏ばなし」。講師は作曲家の神津善行さん。写真 定員300人。麻生区役所、区民ふれあいセミ

市外局番のないものは044



ナー実行委員会、街づくり財団主催、生涯学習振興事業団共催。問い合わせは☎95313111(内217)の麻生区政推進担当。

「女性セミナー〜素敵なマナーで面接試験に挑戦」

◆県立勤労女性会館 3月17日(水)14〜16時。再就職のためにマナー面からポイントをアドバイス。講師は話し方マナーズのコバヤシ代表。対象は県内在住で再就職をめざす方。定員30人。申込みは3月15日までにハガキに住所・電話・氏名・年齢を記し〒210幸区南幸町3-1-54-3の同会館。☎5110451。

「ビジネス外語・日本語研修〜一般会話と異文化コミュニケーション」

◆産業振興会館 外国語の実践会話訓練と当該国の文化・習慣

学習・文化情報

・発想の知識吸収について

学ぶ▽日本語は5月10〜11月1日の毎週月曜。受講料10万円▽英語は5月12〜11月10日の毎週水曜。受講料10万円▽中国語は5月14〜10月29日の毎週金曜。受講料11万円。いずれも18時15分〜20時15分。全25日50時間。対象は初心者(英語、日本語は若干の知識・興味のある方)。申込みは☎54814119の川崎市産業振興財団・情報開発課(主催)。

「かわさきテクノフォーラム◆産業振興会館」

3月17日(水)15〜17時(講演会)、17〜18時(懇親会)。テーマは「社会ニーズと製品開発〜CS(顧客満足度)を高める研究開発とは何か」。講師は日本能率協会コンサルティング・マーケットイング事業開発コンサルティング事業部長の戸張真さん。参加費3千円。定員先着30人。申込みは☎54814117の川崎市産業振興財団・情報開発課(主催)。

「川崎市研究開発機構合同研究会特別講演会◆産業振興会館」

3月25日(木)16時半〜18時。テーマは、「自然と人間との関わり」。講師は芥川賞作家で環境映像プロデューサーの新井満さん。参加費3千円。川崎市後援。申込みは☎54814117の川崎市産業振興財団・情報開発課(主催)。

「障害福祉講座〜障害者が安心して暮らせる地域とは?」

◆福祉パルかわさき 3月17日(水)14〜16時。講師は町田ヒューマンネットワークの樋口恵子事務局長。対象は市内在住在勤の方。定員先着50人。参加無料。申込みは☎24615500。

「あさおの街づくり講演会◆新百合トウエンティワンホール」

3月17日(水)14時開演。テーマは「女はゆれて美しくなる〜転機は人生を華やかに」。講師はノンフィクション作家の沖藤典子さん。入場無料。川崎新都心街づくり財団、街に

学習・文化情報

参加したい催しがある

咲くイイベント企画主催。申込みは ☎ 96616200 の同財団。

「TEPCOライフアツプセミナー」◆川崎日航ホテル 3月23日(火) 10時半〜12時15分。テーマは「林寛子のきままにトークショー」私の生活雑感。タレントの林寛子さん 写真に女性の生き方、幸せの感じ



方などを聞く。定員400人。入場料はチャリティとして100円以上。託児あり。申込みは3月8日(消印有効)までにハガキに①氏名・年齢(3人まで)②代表者の住所・電話番号③託児が必要の時は子どもの氏名・年齢を記し〒210川崎区富士見1-2-10・東京電力川崎支社「TEPCOライフアツプセミナー」S係。詳しくは ☎ 24617502 の同支社営業課地域サービス。

「やさしい先端技術講座」大型カラー液晶ディスプレイ◆東芝科学館 3月19日(金) 10〜12時半と14〜16時半の2回。開発の背景・特徴・動作原理・応用分野・今後の動向などの講義と最新のハードを紹介。講師は東芝研究開発センター研究開発責任者。定員各回250人。受講料無料。申込みは3月17日までに ☎ 54912201 の同館(担当・奥村)。同館はJRまたは京急川崎駅からバス10分。

「国際化と識字(日本語学者)のつどい」パネルディスカッション「外国人市民の日本語学習について考える」◆中原市民館 3月27日(土) 13〜17時。外国人市民とともに生きる地域社会のあり方について日本語学習の視点から考える。パネリストは東京日本語研修所長の高柳和子さん、日本語ボランティア、日本語学習者(外国人市民)。定員70人。参加無料。申込みは3月17日10時から ☎ 72217171 の同館(担当・小林、島田)。



「早春の高尾山」②城ヶ島の地質観察会 ①は3月13日(土) 10時半〜15時②は3月20日(土) 10時、京浜急行三崎口改札集合。指導は県立光陵高校の相原延光先生。いずれも対象は小学4〜成人。定員20人。雨天中止。申込みは ☎ 92214731 の青少年科学館(主催)。

「市民天体観望会」◆青少年科学館 3月13日(金星・星雲・星団)▽3月27日(月齢4日の月・星雲・星団)。いずれも18時半〜20時。申込み不要。雨・曇りは中止。小学生は保護者同伴。☎ 92214731。

「プラネタリウム」◆青少年科学館 3月の投影話題は「ニュージーランドの星空」、4月は「月面名所めぐり」。開始時間は火・金曜：15時▽土曜：13時半・15時▽日・祝祭日：10時半・12時・13時半・15時▽春休み中の火・金曜：10時半・13時半・15時。おとな百円、子ども50円。☎ 92214731。

「ファミリーフェスティバル」春の人形劇まつり◆県立高津青少年会館 3月28日(日) 14〜15時半。楽しい人形劇、影絵、ゲームなど。定員親子百人。申込みは ☎ 84412101。

「親子で楽しむネイチャーゲーム」◆県立東高根森林公園 3月14日(日) 10〜12時。自然との触れ合いゲームを覚える。定員親子・青年50人。集合は県立高津青少年会館(主催)に9時、または森林公園前バス停に10時。申込みは ☎ 84412101 の同館。

「特集 監督・中村登」大船調の冒険◆川崎市市民ミュージアム・映像ホール 1955〜69年の作品。3月6日(土) 「修善寺物語」「土砂降り」▽7日(日) 「集金旅行」「日々の背信」▽13日(土) 「いろはにはへと」 「波の塔」▽14日(日) 「斑女」「河口」▽20日(土) 「古都」「つむじ風」▽21日(日) 「二十一歳の父」「紀ノ川」▽

「親子映画会」◆幸文化センター 3月13日(土) 14時〜15時。上映は「わが恋わが歌」。いずれも13時半と16時から2回上映。各回入替制。西河克己監督ら中村登に縁のある映画人をゲストに迎える予定。入場料は大人500円、小人300円。スカラチケット(10回券)3千円。詳しくは ☎ 75414500。

学習・文化情報

参加したい催しがある

16時。「ドナルドダックとかわいい子リス」「ブルートのかわいいミルク屋さん」「ムーミン」他。入場無料。幸区青少年地域活動促進委員会主催。詳しくは ☎54113910の同館。

〔あさお寄席◆麻生市民館〕3月13日(土)18時開演。出演は三笑亭夢三四さん、三笑亭夢太郎さん、三遊亭小田原丈さん。会費千円。川崎新都心街づくり財団、街に咲くイベント企画主催。申込みは ☎96616200(同財団)、☎95510598(小林)、☎95416917(佐々木)。

**ギャラリー**  
「東芝科学館」4月3日まで：サザエさん展。「サザエサン一家と遊ぼう」をテーマに縫いぐるみや、家係図、生い立ちなどサザエさん一家のこを楽しく知ることが出来る。土・日・祝祭日は休館だが、3月27日と4月3日の土曜は臨時開館。開館時間は9～17時。入場無料。同館はJRまた

は京急川崎駅からバスで10分。☎51112300。  
〔ギャラリー華沙里〕2月25～3月9日：常設展▽11～23日：前田泰昭(日展特選作家・光風会審査員)陶芸展▽25～4月6日：二人展(岡田弥生・一陽会会員、三浦哲往・新象作家協会会員)。展示時間は10～19時(最終17時)。水曜休廊。同画廊は小田急線新百合ヶ丘駅より徒歩5分。☎95412333。  
〔ギャラリー幸〕3月第1～3週：常設展示▽3月26～31日：近隣作家作品展(絵画・工芸・写真)。展示時間は11～18時。木曜休廊。同画廊はJR川崎駅西口より徒歩5分。☎55518



原田 泰治さんの作品  
「五月の風」

181。  
〔青少年科学館〕2月27～4月29日：アメリカのプラネタリウムと科学館。アメリカのプラネタリウム、科学館、天文施設を紹介。☎92214731。  
〔KSPギャラリー〕3月9～28日：セラミックスアート展。大型陶版をキャンバスがわりにして、日本を代表する現代美術家4人によるユニークな陶版画展。開館時間は11～18時。入場無料。同ギャラリーは溝ノ口駅より徒歩12分。☎81912001。  
〔川崎市市民ミュージアム〕3月2～28日：帰国記念展「原田泰治アメリカを行く。日本の四季とふる

さとシリーズ」と百号の大作「アメリカ風景」(5点)を展示。開館時間は9時半～17時(金曜は20時まで)。月曜休館。観覧料は一般700円、学生350円。☎75414500。

コンサート

〔パロックへの早春譜〕古楽器による能楽堂マチネ・コンサート◆川崎能楽堂〕3月27日(土)14時開演。演奏曲目はテレマンの「バリ四重奏曲より Concerto Secondoニ長調」、マレの「ウイオール曲集第4巻より、「迷宮」、ヘンデルの「フルートと通奏低音のためのソナタ ト長調 op.115」ほか3曲。演奏は若松夏美さん(パロック・ヴァイオリン)、中村忠さん(フルート・トラヴェルソ)福沢宏さん(ヴィオラ・ダ・ガンバ)、小島芳子さん、(チェンバロ)。司会は音楽評論家の平野昭さん。入場料2500円。全席自由。川崎市文化財団、市教委主催。

予約は ☎22217995(能楽堂)、☎22218821(文化財団)、☎23316361(教育文化会館事業課)。  
〔麻生高校合唱部定期演奏会◆麻生市民館〕4月3日(土)17時半開演。曲目はルネッサンス「おお栄光に輝く大団」、ロジェ・ワグナー合唱曲集より「草競馬」・「なつかしきケンタッキーの我が家」、みんなの歌より「大きな古時計」ほか。踊りや楽器の演奏もある。入場無料。詳しくは ☎95318650(矢野)。

会員募集

●宮前環境フォーラム  
《宮前区営生31417、由比意出男代表》地域の環境を守る運動の一環として現在は大気汚染測定運動を展開しています。市民の力で環境を守るため熱意のある仲間の参加を歓迎します。毎月1回10～12時、宮前市民館グループ室で。連絡先は ☎85510397の清水努まで。

学習・文化情報

参加したいグループがある

●カルチャークラブ遊友館  
《多摩区登戸352817グリーンライフ登戸101工房「赤いふうせん」内、小寺草子遊友館事務局代表》ハンディキャップのあるないは関係なく楽しめる余暇活動の場としてご利用下さい。音楽、水泳等の9クラスの中から選んで下さい。なお、曜日・時間はクラスによって異なります。絵画は第2・4日曜15~16時半。水泳は月4回月曜18~19時半、場所は多摩区登戸の赤いふうせん内、川崎市民プラザ等。☎93512678の館内事務局まで。

●麻生テッサン研究会  
《麻生区王禅寺24231177、本玉沙夜子代表》裸婦テッサン、アクリル画、油彩画、クロッキーと意欲的に取り組んでいます。絵画を通じて楽しい友達作りの輪を広げたいと思っています。月4回火曜18~21時、麻生文化センター実習室ほかで。入会金2000円、会費3500円(月額)。連絡先は☎95411181の同代表宅。

●人形劇研究会ありす  
《幸区小倉172113グレース小倉11C、松原幸子代表》是非、一度見学に来て下さい。「ひとみ座」の「人形劇まつり」、3回目の参加をめざして練習しています。第1・3土曜12時、幸市民館で。連絡先は土・日を除き19時以降に☎59916485の同代表宅へ。

●ゆーとぴあ(川崎区京町2121919K21301、鈴木幸生代表)川崎区から中原区周辺でテニスを楽しんでいるグループです。レベルは初級から中級です。初級者にはコーチします。20代の方もお待ちしています。体験参加も可能です。気軽にとどうぞ。詳細は電話か、はがき。月2~3回土・日午後、川崎・中原区内の借りコートで。会費500円(月額)。連絡先は水曜を除く21時以降に☎34418475の同代表宅へ。

●水曜俳句研究会(高津区下作延2086、平沼友之代表)俳句をやった方、老若男女問わずお待ちしています。ただいま会員23名。指導者は俳人協会幹事、里川水章氏です。会費1000円(月額)毎月第4水曜午後、高津市民館で。連絡先は☎82215808の同代表宅。

●幸区大極拳研究会(平塚市幸町20118、石垣隆弘代表)大極拳の技能を習得し、健康の増進を計り、会員相互の親睦を深めることをモットーにしています。月4回木曜18時半~20時半、幸文化センター体育室と西御幸小学校体育館で。連絡先は☎54419891の古川実宅へ。

●麻生版画研究会(麻生区高石419133、木名瀬正博代表)毎回の講師は、日下賢二氏。受講者は素人の集まりですが、わきあいあい楽しく、製作にいそいそんでいます。第1・3火曜18~21時、麻生文化センター会議室で。会費2000円(月額)。連絡は土・日を除く18時以降☎96614935の同代表宅へ。

●幸区油絵勉強会(幸区小向西町112714、田岸秋男代表)初心者からセミプロまで、技量、年齢はいつさい不問です。年2回の発表会を幸市民館ギャラリー、川崎市民ギャラリーにておこないます。写生、遠足等、楽しい企画が盛り沢山です。講師は相原猛人氏。あなたもどうぞ。第2・4日曜9~12時、幸市民館2F自習室で。連絡先は19時以降☎51117988の同代表宅。

●金曜フォトクラブ(麻生区上麻生27619、二瓶きよ子代表)ほとんどが初心者で始まったサークルですが、楽しさを大事にしています。どなたでもお気軽にご参加下さい。月1回、作品を持ち寄り先生に講評していただいています。適宜撮影会。講師は、日本写真家協会会員の小松紀三男氏です。会費2000円、(月額)。連絡先は☎98713783の同代表宅。

●心の探求(多摩区生田512214、三浦敦子代表)複雑な社会にあって、ともすれば私たちの心は傷つけられています。一緒に「心」について楽しく学んでみませんか。講師に西光伴子氏(セルフカウニング)、西若淳子氏(成城短期大学教授)。月3回金曜午後、新百合ヶ丘駅前川崎市生涯学習振興事業団で。会費2万円(半年)。連絡先は☎95511765の同代表宅。

●革工芸研究会(川崎区藤崎111913、岩瀬桂子代表)手作りの良さから自分だけの作品を、生活の中に取り入れてみませんか。

●さわやかクラブ(幸区遠藤町42、星野京之代表)体操を通して、健康を保持増進しましょう。中高年者の方お待ちしています。入会金なし、会費2000円。月4回金曜10~11時半、幸区スポーツセンターで。連絡先は☎53313858の同代表宅。

※学習・文化情報・会員募集の原稿をお寄せ下さい。掲載は無料です。

当事業団の'92年度市民企画講座「川崎、むかし、いま、あした」歴史と探訪」と、「くらしやすい地域エコロジー」の今号の紹介は、前号に引き続き、日本民家園学芸員、三輪修三さん講演の「影向寺」と川崎く川崎史の原点」と、水・洗剤問題研究家、小林勇さん講演の「水エコロジーく川崎の水は今…」についての要旨をお届けする。

川崎、むかし・いま・あした

「影向寺」と川崎く川崎史の原点 日本民家園学芸員・三輪修三さん

## 官立寺院より半世紀早い建立のナゾ



三輪さんの講義を熱心に聴く市民

講師の三輪修三さんは前回、平凡な農村だった川崎が、鎌倉や江戸の権力により、どのように歴史を強制され、形成させられたかを明らかにしたが、今回のテーマの「影向寺」と川崎く川崎史の原点」では、国衙(役所)が多摩川の中流域の左岸・府中におかれた理由や影向寺が武蔵国の官立寺院・国分寺より半世紀も古く建立された歴史的・宗教的・文化的意義について話した。

多摩川上流は水が谷間を流れていくため、農民が生活用水に利用することはできなかった。中流域では、人々と川との間隔が短くなり、水の量も多く魚もたくさん生息し、人間は積極的に「川の水を資源として利用しよう」と考える。その典型的なのが農業用水路開削や、江戸の飲料水を賄った多摩川上水。中流域の水を利用したのは、下流では海水が流れ込み生活用水に利用できないからだ。

### 多摩川中流域と生活用水の活用

### 国衙が府中に置かれた理由と多摩川の関係

さて、国衙(役所)が多摩川の中流域の左岸・府中におかれた理由は何か。その理由の一つに多摩川がある。船が河口で様々な物資を積んで湖上(流れをさかのぼって行く)できる上限は古代、中世、近世を通して府中までだった。

江戸時代、武蔵国の農民が年貢米を国家貢納物として、江戸の蔵に収める時、その津出し(湊から荷船を出す)河岸の上限は登戸。王禅寺村や柿生村の年貢米は馬に乗せ、登戸の河岸に集められた。国衙(国府)がおかれた位置は多摩川を意識したと考えていい。

その第二の理由は何か。国府をつくるには、その周辺が大和朝廷の勢力である豪族が、しっかり根を下ろしてなければならぬ。多摩川水系の有力豪族は、早い時期(四世紀末く五世紀)から大和朝廷の勢力下に置かれ、関東の出身のような存在だった。同じ武蔵国の中でも、荒川水系では皇室(大和朝廷)に従わなかった。

国府を多摩川流域に設定したのは主にこの二つの理由からで、六

世紀になると、この地域は大和朝廷の直轄領・屯倉みやげになった。

この背景を受け、影向寺が建立されるのは七世紀末の白鳳時代。

国衙がおかれると、国を守護するお寺が造られる。国分寺がそうだが、影向寺より後で都が奈良にあった七五〇年頃の天平時代。

つまり、影向寺は武蔵国の官立寺院である国分寺より半世紀も古く建立されたのだ。それも国府のある側でなく、川崎に南関東で一番早くお寺ができたわけだ。

当時の農民・庶民は、縄文時代と同じ竪穴式住居におり、お寺の金堂きんどう（本堂）を初めて見た時の驚きは大変なものだったろう。

### 大和朝廷の信頼厚い 豪族が建立したのか

影向寺建立が許された豪族は、屯倉みやげの設定に象徴される皇室と深いつながりがなければ、影向寺が官立寺院建立の半世紀前に造られた必然性は理解できない。

当時のお寺は、今のお寺のイメージとは大きく異なり、仏教という哲学・宗教を形に表した総合文化である。

礼拝の対象・仏像の制作を考えて



くらしやすい 地域エコロジー

## 水源沿いに産廃処理場

計画 飲料水を直撃?

水エコロジー／川崎の「水」は今；水問題研究者・小林 勇さん

「水エコロジー」の講師、小林勇さんは生協組連ユーコープ事業連商品検査センター職員で、「川崎

も、これまで見たこともないので、彫刻専門の武士が長期間、制作に取り組まなければならなかった。同様に経典の理解も並大抵ではなかった。

影向寺の彫刻や絵画、染色、工芸などの中央からきた総合文化は、川崎で初めて花を咲かせ、南関東の仏教史に大きな影響を与えたのである。

しかし文化的・経済的・政治的力量のある人が、そこにいなければ影向寺建立は考えられない。それは、大和朝廷が全国を統一するまで各国を支配した国造くにのみかど（く）のみやつこ）か、土地の豪族・土豪

か、中央政府から郡支配を命ぜられた郡司であろう。

影向寺本堂は内陣（神体が安置されている部分）と外陣（内陣の外側）に厳密に分けられ、内陣へ在家の人々が入ることを許さず、世俗の空間を遮断する構造になっている。これは日本仏教の古いスタイルで「密教本堂」という。

古い仏教の時代——天台宗と真言宗が隆盛だった頃は、このようなお堂が一般的だった。だが、奈良時代の法隆寺などは内陣、外陣の境はなく、現在の菩提寺に近い

造りで床が張ってない。つまり、お坊さんさえ入ることを意識してない建物で、祭式は外で行われた。

しかし、日本人はもともと、儀式をする時、座って行う習慣があったため、催式・礼拝空間を作り床を張った。仏教は中国から入ったが、日本人の慣習に合わせ、お堂もアレンジしていった。

影向寺の平面図は、仏教が日本に伝わった初期でなく、日本人が主体的に仏教を受け止め、信仰意識の中で生まれた。（担当・伊藤てるよ）

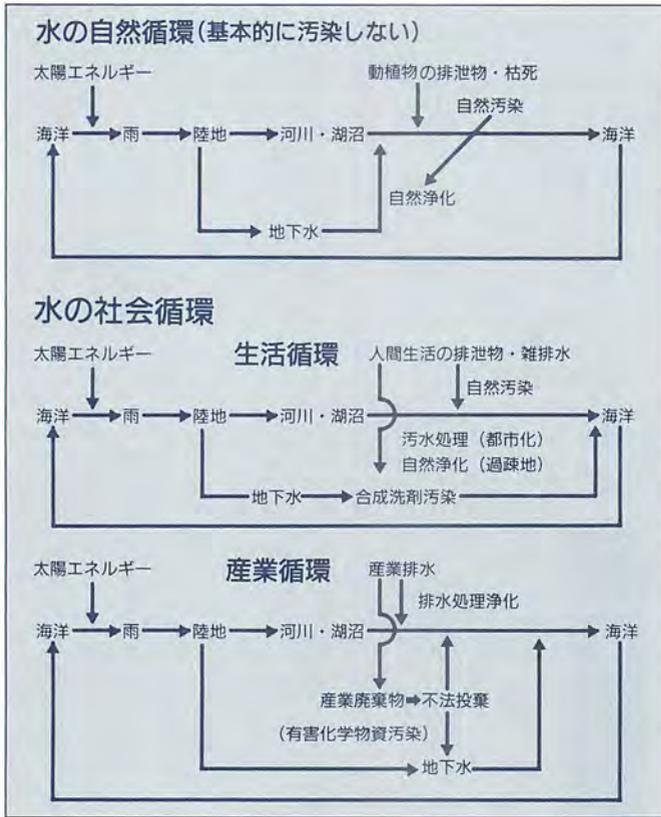
の「水」について歴史的、系統的に追究している研究者。

### 水源汚染は環境問題の重要で基本的な課題

小林さんは、水が人間の生活にとって必要不可欠なものであり、水源・水質汚染は健康に著しい被害をもたらし、生命が脅かされる

ことを強調。環境問題の重要で基本的な課題と位置付けた。

わが国の国民一人が一日に、必要な生活水は三七四リである。だからWHOも清潔な水（上水道）の供給を勧告している。また、食物を作るために必要な水は、牛肉一・当たり二〇リ、小麦同一リ、日本人一人が一日に必要な農作物



六〇〇兆に必要な水は年間二二〇億リットル。同魚類一五兆では六〇〇億リットルにもなる。

次に水の循環と循環中の汚染については左記の図で示した。

いま、深刻なのが産業汚染である。工業廃棄物は年間三億ト排出され、不法投棄によるPCBやトリクレン、トリクロエタンなどの化学汚染が進行している。農薬汚染も輸入果物を中心に残留汚染農産物や除草剤(ダイオキシンなど)

によるゴルフ場汚染問題がクロアズアップされている。この他、養殖・自然魚の有機スズによる防汚剤汚染、ごみ焼却場から出るダイオキシン汚染などがある。

水質汚染の現状はどうか。化学物質は登録されているだけで九百三十万種にも上り、このうちの五七万種が商業生産されたもので、年間五万トに達する。一日、約千種類の化学物質が製造されている。地下水のハイテク汚染も年々進

んでいる。神奈川県内の場合、浅井戸百四十四カ所のうち五十四カ所(37・5%)が汚染、深井戸では二百三十一カ所のうち五十九カ所が汚染され、県内の九河川は全てが汚染されている。

産業汚染は、有害物質が流れだし水源を直撃する汚染。この汚染と川崎の飲料水汚染と深く関わる「事件」がある。山北町に産廃物処理場を建設する申請を神奈川県が認めたことだ。

ここは酒匂川の支流・鮎沢川との合流点で、その直ぐ下には「水道取水口」がある。計画では、すりばち状の採石場跡地に厚いゴムシートを張り、その上に産廃物を投棄、底に溜まる排水は鮎沢川の排水溝に流し、その末端の施設で排水を処理し鮎沢川に放流する。県は「定期的に水質検査をし行政基準に適合した水を流すので川は汚染しない」という。

だが、水源汚染の原因になる生産化学物質は五百種。浄水場などで浄化処理しても二百種は残存するのだ。この中の二十五種は発がん性の疑いが強い。

このことから、川崎市民の四八%が飲料水に利用の酒匂川の水

に、わざわざ産廃処理水を混入させるような無謀な建設計画に県がOKを出すべきではないのだ。だから地元・山北町議会をはじめ、多くの県民が猛反対しているのだ。

**水源近くに溶剤使用工場や産業廃棄物の不法投棄場所**

言うまでもなく、川崎の水の大半は相模川、酒匂川に頼っている。相模川水系の中で汚染の少ない道志川でさえ、川沿いに溶剤を使う電機部品工場が数カ所ある。

また、相模湖とともに川崎の水源地・津久井湖のある津久井町に県が産業廃棄物処理場を造る計画もある。その近くの山中には産廃が不法投棄されている。

おもな水質の汚染源が産業・化学汚染で、家庭雑排水が主要な汚染源でないことを指摘しておく。

したがって、産廃による水質汚染の対策を早急に実施すべきだ。

対策の第一は、産廃物排出企業の責任と規制の強化。第二は産廃物の越境の規制。第三は産廃物を企業に完全処理させる行政指導と行政責任の強化である。これらは社会的責任からも当然である。

(担当・飯島睦子)

## 好評連載企画

## ほんねインタビュー「いまを話す」の ゲストとインタビュアーをご推薦ください。

おもに川崎市内でご活躍の各界、各分野の方々をインタビューし、人生の軌跡や生き方、考え方、「いまなにをすべきか」を率直に語っていただく「ほんねインタビュー いまを話す」は今号で12回目になります。「毎回、どんな人が登場するか、とても楽しみ」と、好評です。そこで、この欄をますます充実させるため、市民・読者のみなさまから「ゲスト」と「インタビュアー」の推薦をお願いします。ゲスト推薦の時は▽その理由▽人柄▽活動歴を。インタビュアー推薦の場合は▽得意のジャンル▽生涯学習活動歴▽略歴を葉書に記し、当編集チームにお送りください。採用させていただいた場合、記念品を贈呈します。

これまでに登場されたゲスト、インタビュアーは次の方々です。

月号数	メインタイトル	登場したゲスト( )内はインタビュアー
91年 9月号	子が伸びぬのは教師の責任	川崎市長 高橋清 (フリーアナ 太田公子)
11月号	会社人間にわが子の教育はムリ	川崎市長 高橋清 (フリーアナ 太田公子)
92年 新春号	オペラに魅せられ46歳で転進	音楽プロデューサー 伊藤準子 (主婦 広瀬暁子)
3月号	芸術は夢・幻・現実の合作	彫刻家 圓鏗勝三 (二科会彫塑部 清水幹子)
5月号	仲間の意見尊重が住民運動の基本	住民運動リーダー 藤田親昌 (主婦 丸山マサ子)
6月号	ヒットラーも生涯学習の推進者?	東大名誉教授 碓井正久 (区民シネマ 篠沢惺子)
夏季号	自費200万円出し感動の場づくり	アートサークル・寺井昭子、織田成江 (主婦 熊野史子)
9月号	女性は男の喜びの存在	世界的プリマドンナ E・オブラスツォワ (フェリス女学院大音楽部講師 田中奈美子)
10月号	ごみ毎日収集が危ない	早大政経学部教授 寄本勝美 (主婦 井上愛子)
11月号	貧しさは尊い体験です	川崎市文化協会会長 米山市郎 (扇乃会会主 藤嶋とみ子)
93年 新春号	土に花が咲くように 川崎に自植えの音楽を	芸術村あすなる代表 渡辺礼子 (川崎柴笛クラブ 岩澤朝男)

# 「人生80年時代」の新しい学習機関 「かわさき市民アカデミー」の創設を

中間  
報告

## 2年で専門的知識に到達

(財)川崎市生涯学習振興事業団は、このほど「人生八十年時代」の新しい学習機関「中高年のための『かわさき市民アカデミー』の創設をめざして」と題する中間報告をまとめた。報告は、高齢社会の生涯学習について「お年寄りこそ個性的な存在であるべきで、学習することにより、加齢がさらなる成熟につながるような新たな学習の機会と仕組みを創造しよう」と、生涯学習についての積極的で新しい理念を提示した。同アカデミーは今年十月、開校をめざす。

### 加齢が成熟へ 地域社会形成に参加

#### 今年11月の開校をめざす

報告は平成四年度、当事業団内に設けた「生涯学習プログラム委」(座長、湯上二郎・大正大教授)の研究協議に基づき作成。「中高年のための新しい学習機関——『かわさき市民アカデミー』創設をめざして(事務局試案)」は、本文四章と資料からなっている。

【第一章 中高年の学習機会としての「川崎市市民アカデミー」の創設を！】

◆高齢化社会をとらえる視点  
川崎市が平成三年度に実施した「川崎市市民一人アンケート」によると、高齢化社会をマイナスイメージでとらえがちで、「若い人の負担が増え社会の活力が低下」四・二%、「老人の介護や医療の問題が深刻に」九一・五%、「働

きたい高齢者が増える一方雇用の場がない」六九・八%など。

高齢者の生きがいは何か？  
労働・社会参加、自己実現

長寿社会をプラスイメーじでとらえ直すには、「中高年のニーズは何か」を十分に考える必要がある。同アンケートの「高齢者にとつての生きがいについて」の回答ベスト5は「趣味・娯楽を楽しむ」「仕事を続ける」「奉仕活動などで社会に役立つ」「友人とつきあいを広げる」「講座で教養を高める」で、高齢者の生きがいを「労働、社会参加、自己実現、やすらぎ」とみることができるとある。

◆高齢化社会への地域的対応  
高齢化社会への地域的対応には生産コミュニティ・福祉コミュニティ・文化コミュニティの

三つがあるが、高齢者の生きがいについては、各地域の「文化コミュニティ」の形成を軸に推進すべきである。

#### ◆高齢者教育の今日的課題

人生八十年時代は定年退職後に二十余年の人生を過ごし「余生」ではなく「第三の人生」と呼ぶ方がふさわしい。この視点から学習機会の整備が求められる。

新たに創設される学習機会は①中高年の個々人の学ぶ意欲と課題意識が尊重される学習援助システム②学習の成果が社会に還元される地域社会形成に参加できる③運営は市民・学生が参加でき、意思が大切にされる④市の教育・研究機能が活用され、全ての市民を対象とした「大学」構想につなげていく——条件保持が望ましい。

【第二章 川崎における高齢者の学習機会の現状と課題】

#### ◆川崎の高齢者教育の現状

戦後の川崎の社会教育において、「高齢者教育」が独自の領域をもつのは一九六〇年代以降である。それ以前は高齢者施策の多くは、福祉行政による対応と考えられていた。高度経済成長期を経て、高齢者人口増が著しくなるに伴い、

「高齢者が学び、集う場づくり」が教育行政でも進められるようになった。現在、教育行政では市民館などで「高齢者教室」が、福祉行政では老人いこいの家や老人福祉センターなどで多様な教養講座が開かれている。

◆川崎の高齢者教育の課題

川崎の社会教育、高齢者教育の現状は、専門職員の配置や事業予算の限界などから、学習が総じて入門程度にとどまり、偏った知識に陥りかねない問題を含んでいる。だが、高齢期間が長くなった「第三の人生」は、個々人が家庭生活や地域社会の一員として、新たな活動を創造する可能性を浮き彫りにし、高齢者のニーズに対応した学習事業の構造的再編が求められていると、いえそうだ。

したがって、高齢者学習の視点として①全人格的な発達が保証される学びの場であり②「現役」の市民として地域社会に貢献する学びが展開され③長期的ライフステージ（例えば「中高年期」）に対応した学習——として構想されるべきである。

◆中高年のための高等教育機関の新設 これからの「高齢期人生」

に対応した新しい学習機会は、入門程度から専門的な段階に到達できるような深みのある仕組みが求められる。そこには、学習の助言指導のできる専門スタッフの配置や資料・情報の集積も不可欠である。また学習期間は、行政の都合で短期に区切ることなく、学習者の納得のいくまで学びの継続を保証される長期の仕組みが求められる。こうした条件を備えた機関は、既存施設の手直しでは難しく、新規に設立されるべきである。

〔第三章 生涯学習プログラム委員会における研究〕

◆委員会の研究協議の特徴点

①「市民アカデミー」の学習課程に「学習・学習成果と社会的還元」との相互浸透システムを内包せることを試みた（必修性の「社会活動」の導入など）②「市民アカデミー」の学習内容の編成は、これまでの学問研究体系や枠組みからではなく、川崎の都市像から導かれる諸課題に立脚して構想した（かわさき市民アカデミーは、「川崎学」を創造する場）③「市民アカデミー」の学生と教授者、助言者との関係は、「学びつつ教え、教えつつ学ぶ」として構想した④

「市民アカデミー」の機構に「完成」はなく、市民・研究者・行政の三者により、常に自己革新するよう構想した。

〔第四章 中高年の新しい学習機会としての「かわさき市民アカデミー」構想〕

◆設立の趣旨 ①長くなった高齢期に、人生の新たな価値を発見し、生きる意欲と豊かな可能性を切り拓くことを援助する②従来からの学習機会の成果を基礎に、より専門的で継続的な学習・研究の場とする③共に学び生きる、活力ある地域社会・人間都市川崎の創造に貢献する。

◆就学年限と学期 就学年限は二年とし、一年は前期と後期の二学期制とする。前期・後期は、それぞれ十五週を標準とする。

◆設置学科 全体を研究系・表現系・技術系の三部門に分ける。例えば次のような専攻コースを設ける。▽研究系Ⅱ環境と生態／地域と生活／保健と福祉／発達と教育／情報とコンピュータ／言語と文明／国際関係論▽表現系Ⅱ音楽／舞踊／スポーツ／野外活動／美術・工芸／演劇／文芸▽技術系Ⅱアカデミー発足後、研究系・表

現系の学習内容を勘案し決定。

◆対象・定員 ①向老期から高齢中期までの成人を主な対象とする②定員の最大枠は四百二十人。初年度は研究系、表現系各九十人。専攻学科は入学者の学習課題により決定。

◆学習・研究課程 必要な単位数は①専攻領域の講座・演習（16単位）②専攻領域以外の講座（16単位）③行事・社会活動への参加（16単位）④課題研究または課題制作（12単位）。修了に必要な合計単位数は60単位。

◆学費 おもに高齢者が対象であることを考慮し、民間教育産業より極力低く抑える。

◆運営 川崎市の補助金を受け、（財）川崎市生涯学習振興事業団が運営にあたる。また学識者・市民代表・学生などで構成する「運営委員会」を設置し、その下にカリキュラム委員会を置く。

◆開設時期 一九九三（平成五）年十月。

（文責・岡本剛介）

この「中間報告」全文を必要とされる方は郵送料（百円切手）を同封し、当事業団事業係へどうぞ。



市民の自主性がひしひし  
伝わる素晴らしい内容だ

ダイエー総務本部消費者サービス  
部課長、浅沼進一郎さん シンポジ  
ウム「川崎のごみ問題を考える」に

小誌の無料配布場所

1308カ所に拡大

小誌の無料配布場所は、3月号か  
ら新たに薬局店一カ所、金融機関四  
カ所、専門学校一カ所と書店三カ所  
のご協力を得て計百三十八カ所とな  
りました。今後とも市民のみならず  
に、生涯学習の多様な情報を提供し  
ご活用いただける紙面づくりに努め  
たいと思っております。

- 小売店 さいか屋川崎店▽ヌマ  
ヤ川崎店▽イトーヨーカドー溝口店
- 金融機関 川崎信用金庫本店と  
川崎市内の全支店(川崎地下街出張  
所・小田支店・京町出張所・大島支  
店・大師支店・渡田支店・遠藤町支  
店・加瀬支店・小倉出張所・鹿島田  
支店・古市場出張所・御幸支店・新  
城支店・住吉支店・武蔵小杉支店・  
新丸子出張所・平間支店・宮内支店  
・中原支店・向河原支店・荻宿支店

際して、お心遣いをいただきありが  
とうございました。貴事業団が発行  
している生涯学習情報誌は、市民の  
自主性がひしひしと伝わる素晴らしい  
内容です。

充実した内容に感心した  
表紙絵は肉眼より美しい

麻生区白鳥2、会社員、紺野早苗  
さん 区役所で「Stage Up」

- ・子母口支店・高津支店・二子新地  
出張所・久地支店・野川支店・梶ヶ  
谷支店・有馬支店・向ヶ丘支店・稲  
田堤支店・宿河原支店・中野島支店  
・長沢支店・登戸支店・読売ランド  
駅前支店・柿生支店・百合丘支店・  
新百合丘支店)▽横浜銀行川崎市内の  
全支店(川崎支店・大島支店・大師  
支店・御幸支店・鹿島田支店・武蔵  
小杉支店・新城支店・元住吉支店・  
溝口支店・鷺沼支店・川崎北部市場  
支店・登戸支店・稲田堤支店・生田  
支店・読売ランド駅前支店・百合丘  
支店・新百合ヶ丘支店・柿生支店)
- ▽住友銀行川崎支店・宮崎台支店・  
新百合ヶ丘支店▽さくら銀行溝口支  
店・柿生支店▽神奈川県労働金庫川  
崎南支店・川崎支店・中原支店・新  
百合丘支店
- 鉄道 JR川崎駅▽JR登戸駅
- 医療機関 市立川崎病院▽市立

を何気なく手にとり見たところ、コ  
ンパクトな冊子なのに、充実した内  
容に感心しました。特に12月号の表  
紙絵「仲野橋」は日頃、肉眼で見  
るとは違った美しい風景の良さが出  
ていて大変良かった。これからも素  
敵な紙面を楽しみにしています。

地域のごみ問題を  
考えるきっかけに

- 井田病院▽太田総合病院▽聖マリア  
ンナ医科大病院▽つつみ歯科新百合  
ヶ丘
- 電力会社 東京電力川崎支社・  
高津営業所・生田営業所
- クリーニング店 ホワイト急便  
金程店
- 事務所 川崎中央法律事務所
- 画廊 画廊ランぷ屋
- 薬局店 パディ薬局
- 学校 登戸ドレスメーカー学院
- 書店 有隣堂川崎駅前BE店▽  
川崎地下街アゼリア店▽新百合ヶ丘  
イトーヨーカ堂店
- 公共施設 教育文化会館▽情報  
コーナー▽幸市民館▽高津市民館▽  
中原市民館▽宮前市民館▽多摩市民  
館▽麻生市民館▽菅生分館▽岡上分  
館▽県立川崎図書館▽幸図書館▽高  
津図書館▽中原図書館▽宮前図書館  
▽多摩図書館▽麻生図書館▽市民ミ

東京都目黒区、高校講師、関崎益  
男さん 私の勤務する学校では、現  
代社会の年間レポートがあり、数人  
がごみ問題を課題に1年間、取り組  
んでいます。「Stage Up」  
10、12月号の「いまを話す」「市民  
企画講座 シンポジウム」は、地域  
からごみ問題を考えるきっかけにな  
りました。

- ユージアム▽日本民家園▽青少年科  
学館▽市立体育館▽石川記念武道館  
▽幸スポーツセンター▽麻生スポー  
ツセンター▽青少年の家▽青少年創  
作センター▽青少年センター▽市役  
所▽川崎区役所▽幸区役所▽中原区  
役所▽高津区役所▽宮前区役所▽多  
摩区役所▽麻生区役所▽福祉バルあ  
さお▽労働会館▽エポックなからは  
▽中小企業・婦人会館▽総合自治会  
館▽市民プラザ▽労働資料室▽消費  
生活センター▽ヨネッティー堤根▽  
ヨネッティー王禅寺▽産業振興会館  
▽フルーツパーク▽緑化センター▽  
県立勤労女性会館▽神奈川県第二中  
高年齢労働者福祉センター「サンライ  
フ川崎」▽会館とどろき
- (この他、老人いこいの家に若干部  
数置いてあります)



かわさき  
ニューイヤ  
コンサート

なじみの薄い曲に新鮮な感動

市外からも 100人の聴衆  
音楽の奥行き  
の深さ味わう

かわさきニューイヤコンサート  
(当事業団、川崎市教委主催)が一月十日夜、川崎市教育文化会館ホールに大勢の観客を集め開かれた。わが国音楽界をリードする弘中孝さん(ピアノ)、津堅直弘さん(トランペット)、久保陽子さん(ヴァイオリン)、店村真積さん(ヴィオラ)の四人と、昨年夏にあつたオーディション合格者十三人が共演するコンサートとあつて横浜、東京、千葉など市外からの観客が百人近くあり、一流音楽家と将来の日本音楽界を担う可能性を秘める新人の演奏と独唱に盛んな拍手が送られた。

この日、演奏された八曲は、わが

国のクラシックファンには、なじみの薄い曲が多かつた。しかし、ブランク作曲「ホルン・トランペット・トロンボーンのためのソナタ」(1922年作)の三重奏などに「新鮮ですてき」と、感嘆の声が漏れた。このコンサートを聴いて、多くの聴衆は改めてクラシック音楽の幅の広さと奥行きに魅了したようだ。

◆お礼 92年度の当事業団主催の音楽イベントは、盛況のうちに終わりました。心から感謝申し上げます。新年度事業をご期待ください。

発行 財団法人 川崎市生涯学習振興事業団

〒215 川崎市麻生区万福寺一の二の二 新百合21ビル  
電話(〇四四)九五二一五〇〇〇 FAX(〇四四)九五一一三三三〇

編集人 田中 園

同事業団生涯学習情報コーナー

〒210 同市川崎区富士見二の三 教育文化会館一階  
電話(〇四四)二三三一六二五〇

編集後記

昨年の3月号から連載を始めました高橋清市長の随想「思いつくまま」は今号で一応終わります▼随想を掲載したきつかけは一昨年9、11月号「本音イン

タビュー」いまを話す」に市長がゲスト登場されたことから▼その表紙には「子が伸びぬのは教師の責任」「会社人間にわが子の教育はムリ」と刺激的な見出しが躍っています▼これを読んだ市民から共感や励ましの手紙、電話が▼そして「市長が日頃考えていることをニューズにして」との強い要望から随想は実現▼予想を上回る反響がありました。ごく一部の方から「表紙をめくつて、次が市長かね。思惑がミエミエ」とツレームも▼私たちは市民の声を生かすため、多忙な市長にペンをとって貰ったのですが、残念です▼「休載」の理由は市長が多忙なためで、ご了承ください▼ところで、今号から表紙絵の制作者が替わりました▼これまで当事業団職員、田島志織が担当していましたが、数人の市民画家のご協力が得られ「市民がつくる生涯学習情報誌」へさらに前進します▼小誌は今後とも出来る限り、読者の声を生ずる紙面を心掛けます▼ご意見、ご提言をお寄せください。

# フィルハーモニック・ヴィルトゥオーゾ・ベルリン

## 吉野 直子(ハープ)



日時— 6月26日(土) PM 2時 開演

会場— 麻生文化センターホール

(小田急線新百合ヶ丘下車徒歩3分)

出演— ベルリン・フィルのソリスト級の  
弦楽アンサンブルと  
ハープ界の若手 No.1 吉野 直子



入場料— S席 5000円  
A席 4000円  
B席 3000円

前売り— 3月30日(火)  
発売・電話予約開始

主催— (財)川崎市生涯学習振興事業団  
川崎市教育委員会

申し込み— (財)川崎市生涯学習振興事業  
問い合わせ— 団(麻生区万福寺1の2の2、  
新百合21ビルB2)

☎044-952-5000

同事業団情報コーナー(川崎区  
富士見2の1の3、川崎市教育  
文化会館1F)

☎044-233-6250



明日をひらくエネルギー  
**東京電力**

あしたもきつとだよ。



深夜  
電力

温  
水  
器

ほしい時に  
ほしいお湯

あったかい暮らしに、電気温水器のお湯。

電気温水器テレフォン相談室 ☎ 0120-000910 (無料通話)

〈横浜銀行〉だけの1枚3役、  
スーパーカード。



**YOKOHAMA**  
BANK CARD INTERNATIONAL

- ①海外・国内でショッピング、キャッシング。
- ②全国の銀行、提携金融機関で、お引き出し。
- ③急な出費時には、自動融資で安心便利。

VISA、マスター、JCBの3ブランドからお選びください。



主役は、**横浜バンクカード。**

加藤雅也

お問い合わせ・お申し込みは **横浜銀行** 川崎支店 (044)222-5521 (大代)

# 楽しさを贈る、 さいか屋の商品券



■川崎店・1階商品券コーナー

さいか屋(川崎店・横須賀店・藤沢店・町田シヨルナ・サイカマート、及び三越提携店グループ)でご利用頂けます。  
☆1,000円より、ご予算にあわせて各種ご調整いたします。



さいか屋川崎

〒210 川崎市川崎区小川町1番地  
TEL. 044-211-3111

## 健康に役立つアルカリイオン水をご家庭へ…



アルカリイオン整水器      アルカリイオン整水器

*mine balance*      *mine soft*  
ミネバランス      ミネソフト

標準小売価格 148,000円      標準小売価格 198,000円

(いずれも消費税・取付け工事費は別です)

体がアルカリ性だと健康で、酸性なら危険信号であることは広く知られています。

いま、飲料水への関心が高まり、水道の蛇口に浄水器を付けるご家庭が多くなっています。

しかし、浄水器でアルカリ水はつくれません。家族の健康を考えるなら、アルカリイオン水をつくる整水器です。2週間、無料でお試しになれます。

無料パンフレットの請求、商品のご注文、お問い合わせは  
◆ 月～土曜日 9～20時

**0120-096-608**

**AKAI 赤井電機株式会社**

代理店 株ヒューマンテック・コーポレーション  
〒215 川崎市麻生区万福寺1-8-7-306